

4. 国 際 交 流

(1) APEID 特殊教育事業

1) 第 20 回 APEID 特殊教育セミナーの実施

① 趣 旨

アジア・太平洋地域の APEID (Asian and the Pacific Programme of Educational Innovation for Development: アジア・太平洋地域教育開発計画) 参加各国の特殊教育の発展と教育の向上に資することを目的に、特殊教育専門家を招へいし特殊教育に関するセミナーを実施した。

② メインテーマ

APEID 特殊教育セミナーの第 6 期 (1997-2001) の主題を「21世紀に向けた特殊教育におけるパートナーシップ」とした。

③ 討議題 (サブテーマ)

「School Development を中心にして」

④ 主 催

日本ユネスコ国内委員会
国立特殊教育総合研究所

⑤ 会期・場所

2000 年 11 月 6 日 (月) ～ 11 月 11 日 (土)
国立特殊教育総合研究所等

⑥ 実施内容

本セミナーは 12 か国の代表者、ユネスコの代表者、および日本のオブザーバーの参加によって開催された。参加国の代表者は、共通の目標である「Education for All」に向けての各国の取り組みにおける、これまでの到達状況について報告を行った。

また、特別なニーズのある子どもの一人一人の教育的ニーズに応じた教育の実現を目指す中で、それぞれの国が抱えている課題について互いに情報を共有し、今後の発展およびその目標の実現に向けて、それぞれがさらに前進するための方法について討議を行った。

⑦ 参加国 (12 か国)

バングラデシュ、中国、インド、インドネシア、日本、マレーシア、ネパール、ニュージーランド、パキスタン、フィリピン、韓国、タイ

2) APEID 特殊教育ニュースレター (No.15, No.16) の刊行

① 目 的

APEID 特殊教育セミナーはすでに 20 回を数え、海外からの参加者は 200 名を越えるに至っている。これらアジア・太平洋諸国の特殊教育関係の研究者・教育者・行政官は、当研究所の国際協力を発展させる上での貴重なリソースであり、毎年セミナーにおいては、APEID 特殊教育セミナーに集まったことを契機として、さらに参加者間における継続的な情報交流のネットワークをつくることが求められている。

そのための一つの手段として、平成元年度より当研究所が中心となってアジア・太平洋諸国の特殊教育に関する最新情報の流通の一助としてニュースレターを発行し、APEID 参加各国関係機関等に配布している。

② 内 容

- | | |
|---------------|-------------|
| ・各国の最新の動き | ・研究の動向 |
| ・研究会・セミナー等の案内 | ・教材・教具の開発紹介 |
| ・国際機関の動き | ・各国研究所等紹介 |

(2) 世界の特殊教育の刊行

本年度は、科学研究費補助金（基盤研究(A)(2)）「障害児教育分野における協力・連携関係（パートナーシップ）の形成に関する調査研究」に基づき海外における特殊教育の実情や研究動向、在外研究員として派遣された2名（オーストラリア、イギリス・デンマーク・ノルウェー・アメリカ）の研究報告、11月に開催された第20回 APEID 特殊教育セミナーの報告、国際派遣研究集会の派遣者の報告、韓国特殊教育院において6月に開催された第7回国際セミナーの報告、また研究資料を「世界の特殊教育 (XV) Special Education of the World (XV)」としてとりまとめ刊行した。